

議事録

1. 件名：「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」で載荷した試験体の損傷状況の現場確認
2. 日時： 令和 5 年 10 月 27 日(金) 16:30～17:00
3. 場所： JEF テクノリサーチ株式会社 長沼試験場

4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野総括技術研究調査官、藤原技術研究調査官

東芝エネルギーシステムズ株式会社
パワーシステム事業部 原子力システム設計部 エキスパート ほか 1 名
パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート

鹿島建設株式会社
原子力部 技師長
原子力部 原子力設計室 設計室長

JEF テクノリサーチ株式会社
構造材料ソリューション本部 構造性能センター 主査

国立大学法人東京工業大学
名誉教授

5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」事業を実施している。
今回は、当事業で載荷した試験体の損傷状況を確認した。内容は下記のとおり。

- ① 試験体の損傷状況を確認した。
- ② 試験体の損傷過程について、東芝エネルギーシステムズ株式会社及び鹿島建設株式会社と議論した。
- ③ 今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他

特になし